

2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月10日

上場会社名 株式会社フルキャストホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 4848 URL <https://www.fullcastholdings.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長CEO (氏名)坂巻 一樹
 問合せ先責任者 (役職名)財務IR部長 (氏名)朝武 康臣 (TEL)03(4530)-4830
 四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有(当社ホームページで公開)
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	17,133	7.3	2,356	△1.1	2,332	△2.5	2,202	39.5
2023年12月期第1四半期	15,963	4.5	2,382	△2.7	2,393	△3.7	1,578	△8.6

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 2,280百万円(38.1%) 2023年12月期第1四半期 1,651百万円(△7.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	62.55	62.21
2023年12月期第1四半期	43.71	43.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	41,221	27,248	64.3
2023年12月期	38,977	26,785	65.2

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 26,522百万円 2023年12月期 25,401百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	29.00	—	32.00	61.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	31.00	—	31.00	62.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	34,756	4.9	4,200	△8.6	4,202	△8.0	2,906	△9.2	82.54
通期	70,500	2.2	7,200	△16.8	7,233	△16.7	5,045	△14.3	143.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期 1 Q	37,486,400株	2023年12月期	37,486,400株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	2,272,851株	2023年12月期	2,277,051株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年12月期 1 Q	35,211,472株	2023年12月期 1 Q	36,110,702株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている当社グループの計画、見通し、戦略などは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。従いまして、当社グループの業績、企業価値等を検討されるに当たりましては、これらの見通しのみには全面的に依拠されることは控えて下さるようお願いいたします。実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済・金融情勢および雇用情勢の変化、(2)地震などの災害に伴う企業インフラの損害、(3)当社グループの行う事業に適用のある労働基準法、労働者派遣法等の関連法令の変更、解釈の変更などです。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果により、常に当社グループが将来の見通しを見直すとは限りません。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、[添付資料] 4 ページ 1. (3) 連結業績予想に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費は、持ち直しに足踏みが見られること等、このところ足踏みも見られるものの、企業収益及び企業の業況判断は改善していること、設備投資は持ち直しの動きが続いていること等、景気は緩やかに回復しております。景気の先行きに関しましては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待されるものの、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念等、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっていることに加えて、物価の上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等による影響に十分注意する必要があること等から、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

人材サービス業界を取り巻く環境においては、新規求人倍率及び有効求人倍率が横ばい圏内でありながらも高水準で推移していること、就業率の改善が続いていること等、雇用情勢は改善の動きが見られます。先行きに関しましては、改善の動きが続くことが期待されます。

このような環境のもと、当社グループでは、当第1四半期連結累計期間において、「アフターコロナにおけるリオープニング需要及び労働力人口減少下における人手不足需要に今まで以上に対応するための事業基盤の一層の強化を図る並びに異業種の参入も確実視されるスポットワーク市場において、競争激化が見込まれる事業環境への対応を図る」を目標としたグループ経営を行い、特に主力サービスである「紹介(注1)」、「BPO(注2)」を中心にフルキャストグループ全体の収益を伸長させることを主眼とした営業活動を行ってまいりました。加えて、継続してグループ全体の業務効率化を推し進め、生産性を高めることで、利益の最大化を図りつつ、更なる事業拡大に取り組んでまいりました。

連結売上高は、飲食事業の損益を取り込んだこと等により17,133百万円(前年同期比7.3%増)となりました。

利益面では、増収したことに対し、コロナ禍からの脱却による経済社会活動の活性化に伴う顧客需要の拡大を取り込むことで、短期業務支援事業における主力サービスである「紹介」及び「BPO」を伸ばせたものの、想定通り、コロナ禍特需及びマイナンバー関連特需が剥落したこと等により、連結営業利益は2,356百万円(前年同期比1.1%減)、連結経常利益は2,332百万円(前年同期比2.5%減)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、当第1四半期連結会計期間において、連結子会社である㈱BOD株式を譲渡したことに伴う子会社株式売却益1,295百万円を特別利益に計上したこと等により2,202百万円(前年同期比39.5%増)となりました。

当社グループは、2024年3月29日付で当社の連結子会社であった㈱BODの全株式を譲渡したことに伴い、同社及び同社の子会社である㈱HRマネジメント及び㈱プログレス並びに㈱BPCを連結の範囲から除外しております。連結の範囲から除外するまでの期間損益は当第1四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に含めております。

(注) 1. 主力サービスである「アルバイト紹介」サービスに加えて、㈱ヘイフィールドの不動産業界特化型の人材紹介サービス及びApp X(㈱)グループの求人検索アプリサービスを「紹介」と呼称しております。

2. 主力サービスである「アルバイト給与管理代行」サービスに加えて、「マイナンバー管理代行」サービス等その他の人事労務系BPOサービス及び㈱BODグループのバックオフィス系BPOサービスを「BPO」と呼称しております。

セグメントごとの経営成績は次の通りです。

なお、前第2四半期連結会計期間においてグロービート(株)の株式を取得し、同社及び同社の子会社であるグロービート・ホールディングス(株)並びに同社の孫会社であるグロービート・ジャパン(株)を新たに連結の範囲に含めたことに伴い、報告セグメントとして「飲食事業」セグメントを新設しております。また、2023年10月1日付で、グロービート・ジャパン(株)を存続会社、グロービート(株)及びグロービート・ホールディングス(株)を消滅会社とする吸収合併を行っております。

① 短期業務支援事業

コロナ禍からの脱却による経済社会活動の活性化に伴う顧客需要の拡大を取り込むことで、短期業務支援事業における主力サービスである「紹介」及び「BPO」を伸ばせたものの、想定通り、コロナ禍特需及びマイナンバー関連特需が剥落したこと等により、短期業務支援事業の売上高は14,007百万円(前年同期比4.8%減)となりま

した。

利益面では、減収したことを主因として、セグメント利益（営業利益）は2,441百万円（前年同期比6.1%減）となりました。

② 営業支援事業

主たる事業内容であるインターネット回線販売事業において、代理店網を活用した通信商材の販売が好調であったこと等に伴い、営業支援事業の売上高は832百万円（前年同期比23.9%増）となりました。

利益面では、増収したことに伴い、セグメント利益（営業利益）は29百万円（前年同期は6百万円の損失）となりました。

③ 飲食事業

国内事業における需要の回復動向が続いたことで、飲食事業の売上高は1,702百万円、販管費削減効果によりセグメント利益（営業利益）は142百万円となりました。

なお、飲食事業は、前第2四半期連結会計期間より新たな報告セグメントとして追加したため、前年同期比増減を記載しておりません。

④ 警備・その他事業

主として、コロナ関連業務に係る臨時警備案件が剥落した一方で、常駐警備案件を獲得できたことで、警備・その他事業の売上高は591百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

利益面では、増収したものの、前年同期は比較的高粗利なコロナ関連業務に係る臨時警備案件を獲得できていたこと等を主因として、セグメント利益（営業利益）は57百万円（前年同期比4.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より2,244百万円増加し41,221百万円となりました。自己資本は1,121百万円増加し26,522百万円（自己資本比率64.3%）、純資産は463百万円増加し27,248百万円となりました。

資産及び負債区分における主な変動は次のとおりです。

資産の部では、流動資産が前連結会計年度末より2,322百万円増加し27,171百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が1,016百万円減少し7,400百万円となったことに対し、現金及び預金が3,547百万円増加し18,015百万円となったこと等によるものです。

固定資産は前連結会計年度末より78百万円減少し14,051百万円となりました。これは主に、投資有価証券が264百万円増加し2,589百万円となったこと及び工具、器具及び備品（純額）が25百万円増加し209百万円となったことに対し、のれんが238百万円減少し5,591百万円となったこと及び繰延税金資産が62百万円増加し539百万円となった一方で、敷金が133百万円減少し1,023百万円となったことを主因として、投資その他の資産におけるその他が70百万円減少し1,754百万円となったこと並びに建物及び構築物（純額）が56百万円減少し656百万円となったこと等によるものです。

負債の部では、流動負債が前連結会計年度末より1,831百万円増加し11,624百万円となりました。これは主に、預り金が448百万円減少し760百万円となったことを主因として、流動負債におけるその他が443百万円減少し1,399百万円となったこと及び未払費用が418百万円減少し1,458百万円となったことに対し、短期借入金が2,500百万円増加し3,500百万円となったこと及び未払法人税等が283百万円増加し1,533百万円となったこと等によるものです。

固定負債は前連結会計年度末より49百万円減少し2,350百万円となりました。これは主に、資産除去債務が42百万円減少し363百万円となったことを主因として、固定負債におけるその他が40百万円減少し1,466百万円となったこと及び退職給付に係る負債が9百万円減少し884百万円となったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績は、主力事業である短期業務支援事業を中心に、期初に想定した前提条件の通り順調に推移しており、業績予想の修正を要しない水準で推移していること、また、第2四半期連結会計期間以降で戦略的投資の費用が発生することから、2024年2月9日に発表した2024年12月期の連結業績予想（第2四半期連結累計期間及び通期）の修正は行いません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,468	18,015
受取手形及び売掛金	8,416	7,400
商品	43	64
貯蔵品	30	33
その他	1,943	1,713
貸倒引当金	△52	△55
流動資産合計	24,849	27,171
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	712	656
工具、器具及び備品（純額）	184	209
土地	1,145	1,145
その他（純額）	1	1
有形固定資産合計	2,042	2,011
無形固定資産		
のれん	5,829	5,591
商標権	1,650	1,629
その他	470	488
無形固定資産合計	7,950	7,708
投資その他の資産		
投資有価証券	2,324	2,589
その他	1,824	1,754
貸倒引当金	△12	△11
投資その他の資産合計	4,137	4,331
固定資産合計	14,128	14,051
資産合計	38,977	41,221

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	537	578
短期借入金	1,000	3,500
未払金	1,751	1,747
未払費用	1,876	1,458
未払法人税等	1,250	1,533
未払消費税等	1,361	1,250
賞与引当金	177	157
その他	1,842	1,399
流動負債合計	9,793	11,624
固定負債		
退職給付に係る負債	893	884
その他	1,506	1,466
固定負債合計	2,399	2,350
負債合計	12,192	13,974
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,780	2,780
資本剰余金	2,006	2,006
利益剰余金	24,868	25,938
自己株式	△4,647	△4,638
株主資本合計	25,007	26,086
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	140	145
為替換算調整勘定	253	291
その他の包括利益累計額合計	394	435
新株予約権	204	214
非支配株主持分	1,181	513
純資産合計	26,785	27,248
負債純資産合計	38,977	41,221

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	15,963	17,133
売上原価	10,708	10,814
売上総利益	5,255	6,319
販売費及び一般管理費	2,872	3,963
営業利益	2,382	2,356
営業外収益		
受取配当金	1	1
持分法による投資利益	0	-
広告収入	19	8
その他	9	17
営業外収益合計	29	26
営業外費用		
支払利息	2	4
和解金	8	5
持分法による投資損失	-	34
その他	9	6
営業外費用合計	19	49
経常利益	2,393	2,332
特別利益		
子会社株式売却益	-	1,295
その他	-	3
特別利益合計	-	1,299
特別損失		
固定資産除却損	1	19
特別損失合計	1	19
税金等調整前四半期純利益	2,392	3,612
法人税、住民税及び事業税	830	1,488
法人税等調整額	△49	△114
法人税等合計	780	1,374
四半期純利益	1,612	2,238
非支配株主に帰属する四半期純利益	33	36
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,578	2,202

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	1,612	2,238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22	4
為替換算調整勘定	18	37
その他の包括利益合計	40	42
四半期包括利益	1,651	2,280
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,613	2,244
非支配株主に係る四半期包括利益	38	36

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2023年1月1日 至2023年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	短期業務 支援事業	営業 支援事業	飲食事業	警備・ その他事業			
売上高							
外部顧客への売上高	14,718	672	—	574	15,963	—	15,963
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	8	—	3	15	△15	—
計	14,722	680	—	576	15,978	△15	15,963
セグメント利益 又は損失(△)	2,599	△6	—	59	2,652	△270	2,382

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△270百万円には、セグメント間取引消去△3百万円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△267百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2024年1月1日 至2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	短期業務 支援事業	営業 支援事業	飲食事業	警備・ その他事業			
売上高							
外部顧客への売上高	14,007	832	1,702	591	17,133	—	17,133
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	3	—	1	8	△8	—
計	14,011	835	1,702	592	17,141	△8	17,133
セグメント利益	2,441	29	142	57	2,669	△313	2,356

(注)1. セグメント利益の調整額△313百万円には、セグメント間取引消去△4百万円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△309百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第2四半期連結会計期間において、グロービート株式会社の株式を取得し、同社及び同社の子会社であるグロービート・ホールディングス株式会社並びに同社の孫会社であるグロービート・ジャパン株式会社を新たに連結の範囲に含めたことにより、報告セグメントとして「飲食事業」を追加しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で記載しております。